

地域未来フォーラム

地域の多様な活動が 社会を変える

基調講演



「コロナ禍による雇用、
生活への影響と支援」

大西 連氏

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい 理事長
内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与

大西さんは、生活に困窮する人への現場での支援活動と同時に、生活保護をはじめとする社会保障削減などの問題について、積極的なメディア発信や政策提言を行うなど、貧困をテーマに、幅広く社会的な活動を行っています。いま、無料の食品配布を利用する人が増え始めていて、空腹を抱えて訪れた人たちに食品を渡せない日が来るのではないかと危機感をあらわにしています。誰もが生活困窮の当事者になりうる現場で起きていること、私たちにできることは何かを考えます。

2023年3月30日(木)

10:00~12:00

場所 新横浜スペースオルタ

YouTubeライブ
配信

事例報告
トークセッション

岡田百合子氏 (はたらっく・ざま代表、NPO法人W.Co協会副理事長)

「就労準備支援事業は人と人を結ぶツールとなる」

永井圭子氏 (こども食堂プロジェクト@やまと代表)

「気になるこどもに会いたくて~つながり続けるために~」

コメンテーター:大西連氏

2022年度「アソシエーション活動実態調査に関わる研究会報告書」

23年度アソシエーション
活動調査について共有

主催 NPO法人 全員参加による地域未来創造機構

お問い合わせ TEL 045-534-7131

MAIL minnano@miraikikou.org



お申込み

QRコードでこくち一ずから
または裏面申込書でFAXで



フォーラム 開催趣旨

長引くコロナ禍によって、格差や貧困の問題が次々に表面化しました。全体の4割をも占めていた非正規就労者を中心とした多くの人たちが収入の減少、失業、住まい／居場所の喪失といった問題に直面しました。そしてさらに、グローバル経済の中で、円高、物価高はますます困窮する人たちに打撃を与えています。世界の不安定さが私たちの食料や生活に関わるものすべてに直結していることを実感します。

本来、地域で基本的なものを生産・供給し、循環度の高い地域をつくっていくことが求められます。協同組合をはじめとする多様なアソシエーション団体が、ソーシャルインクルーシブな活動等様々な実践をすすめ、そのネットワークづくりによって人と人のつながりから地域社会を変え、豊かにしていくことが大きな希望へとつながるものです。

いま誰もが他人事とはいえない生活困窮状態にある人たちを受け入れ、地域で支えようとする実際の活動を共有し、その社会的意味をともに考える機会をつくりたいと考えます。

また、未来機構は今年度、「アソシエーション活動実態調査に関わる研究会」を設置し、その調査設計をもとに次年度、暮らしや生活福祉に関わるアソシエーション活動について実施する予定の調査についても共有します。

たまめし食堂

子ども食堂プロジェクト@やまと



★ ★ 食事の風景 ★ ★



たまには宅配
たまたくの 試行錯誤



お惣菜を詰める人
おかずを作る人
物資をしわける人
お弁当と物資をお届けするためみんなで役割分担。




23世帯
80食分
を準備

未来機構行き Fax:045-534-7151

e-mail: minnano@miraikikou.org

「地域の多様な活動が社会を変える」

参加申込用紙 ◆申込メ切り:2023年3月20日(月)

| | |
|--------|------------------------------------|
| 参加者名 | |
| 連絡先電話 | |
| e-mail | |
| 所属等 | |
| 参加形態 | 会場 YouTubeライブ |

QRコード(こくちーず)からも参加申込みを受け付けています。

<問合せ・送付先>

NPO法人 全員参加による地域未来創造機構(略称:未来機構)事務局

〒222-0033横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F

Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151

e-mail: minnano@miraikikou.org

